

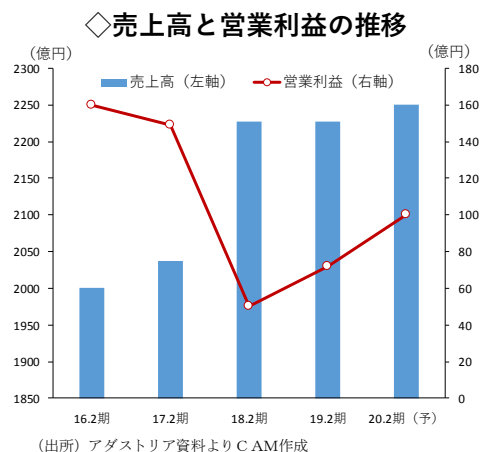
企業ニュース アダストリア

(東証1部: 2685) <http://www.adastria.co.jp/>

作成者: 荒木晶子

カジュアル衣料品の製造小売業

1953年設立のカジュアル衣料品大手。代表的なブランドは、「グローバルワーク」「ニコアンド」「ローリーズファーム」など。グループ店舗数は1,427店(2019年2月末時点)。19.2期~21.2期の中期経営計画では、最終年度に営業利益率8.0%、ROE15%前後を目指す。19.2期は商品力の弱さが影響し上期の販売が苦戦、営業利益率は3.2%にとどまった。20.2期は収益を継続的に向上させる体制を強化するとし、徹底した在庫管理による値引きの抑制や、マーケットの変化に対応できる商品企画力の向上を図る。また、自社ECの認知度向上、アジアを中心とした海外事業の再構築、新規事業などにも取り組み、営業利益率4.4%を目指す。



商品力向上や徹底した在庫管理により業績回復

19.2期の連結業績は、売上高が2,227億円、前期比微減、営業利益が72億円、同44%増。計画に対して、売上高で43億円、営業利益で12億円の未達となった。単体の既存店売上高は、上期の前年同期比4.2%減に対し、下期は同3.0%増と回復した。下期は顧客ニーズに合わせた商品力・価格設定・生産オペレーションの改善により、基幹ブランドの販売が復調した。国内のEC売上高は405億円、前期比16.0%増、会員数は前期末比で170万人増の約870万人となった。

20.2期の通期会社計画は、売上高が2,250億円、前期比1%増、営業利益が100億円、同39%増。単体の既存店売上高は、同1.3%増を見込む。3月は前年同月比8.2%増と、前下期の好調さを維持して良好なスタートとなった。自社ECは会員数1,000万人を目指し、実店舗を活用したオムニチャネルサービスによる認知度向上施策に取り組む。単体の粗利益率は前期比1.6ポイント増の計画。在庫の最適化による値引き率減や生産コスト管理による値入率改善を図る。

[株価動向・投資判断]

19.2期下期の回復が好感され、株価は上昇した。顧客ニーズを重視した商品企画・生産や在庫管理の徹底による値引き抑制などにより、20.2期も業績回復の継続が期待される。

<2685 アダストリア 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
18.2	222,787 (9)	5,005 (▲ 66)	5,428 (▲ 64)	863 (▲ 93)	18.4	50.00
19.2	222,664 (▲ 0)	7,190 (44)	7,345 (35)	3,890 (351)	82.7	50.00
20.2 予	225,000 (1)	10,000 (39)	10,000 (36)	6,000 (54)	127.5	50.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価(2019/4/8)	2,877 円
年初来高値(高値日)	2,997 円(19/4/5)
同 安値(安値日)	1,800 円(19/2/5)
予想PER(20.2予)	22.6 倍
1株株主資本(PBR算出用)	1,125.3 円
PBR	2.56 倍
予想配当利回り	1.74 %
(1株当たり配当金50.00円)	
ROE(19.2)	7.5 %
発行済み株式数	4,880 万株